



Chitose Institute of Science and Technology

# 千歳科学技術大学報

Volume

# 44

平成29年11月30日

## 第19回稜輝祭(大学祭)を開催しました



10月15日(日)、稜輝祭実行委員会主催による第19回稜輝祭(大学祭)を開催しました。今年も、多くの人とのつながりを財産にするという想いを込め、「つなぐ」というテーマが掲げられました。

模擬店、YOSAKOIソーラン演舞といった学生団体のイベントをはじめ、移動動物園やクロスワードパズルなどお子さま向け催しもあり、ご家族で楽しめる姿が多くみられました。さらに、「TKO」「オシノオスボン」によるお笑いライブで会場の熱気は最高潮に達しました。

天候にも恵まれ多くの方にご来場いただき、盛況のうちに終了することができました。また、稜輝祭の企画・運営にあたり、ご協力賜りました各方面の皆様方に厚く御礼申し上げます。

発行/学校法人千歳科学技術大学企画総務課  
 千歳市美々 758 番地 65  
 TEL.0123-27-6001  
 ホームページ [www.chitose.ac.jp](http://www.chitose.ac.jp)

## 平成29年度父母懇談会を開催しました

9月30日(土)、本学において平成29年度父母懇談会を開催しました。午前10時より、大講義室で「学長挨拶」の後「就職について」の説明を行い、参加者の皆様は熱心に耳を傾けていました。その後会場を移し、「学部教育」「大学院」「研究 成果」についての説明と本学相談員による「大学生活における困り感について」の講演を行いました。

午後からは、「学習・生活個別相談」と「就職セミナー(企業担当者による講演、就職個別相談、卒業生による就職活動体験 報告会)」を同時に開催しました。個別相談では学生一人ひとりの成績や大学生活の様子、就職状況など参加者の皆様が日頃疑問や不安に思っていることについて、担当教職員が説明いたしました。また、就職セミナーでは、株式会社ハイマックス人事開発本部執行役員本部長 岡田由紀氏による講演や卒業生から就職活動について生の声が聞けるということで、多くの方が参加されました。

次年度も開催を予定しておりますので、より多くの皆様のご参加をお待ちしております。



## 帯広市・旭川市で科技大サイエンスライブを実施しました

10月22日(日)にとかちプラザ(帯広市)において、10月29日(日)には旭川市民文化会館(旭川市)において、高校生を対象に科学の不思議やおもしろさを紹介する講義ライブ「科技大サイエンスライブ」を実施しました。

帯広会場では、応用化学生物学科の坂井賢一准教授により「色鮮やかな光をつくる化学の魅力」というテーマで、蛍光物質の開発研究を通して、分子科学のおもしろさを伝える内容の講義が行われました。

また、旭川会場では、応用化学生物学科の平井悠司専任講師により「古くて新しい最先端の科学～生き物が持つすごいチカラから学ぶ～」というテーマで、生物の持つ性能や仕組みを探り模倣する生体模倣技術(バイオミメティクス)についての講義が行われました。

参加された高校生からは、「身近な所に光るものがたくさんあるけど、どうして光るのかまで考えたことがなかったので、知識が増えてうれしかった。」「実際に実験することで、感覚も学ぶことができた。」などの声が寄せられました。



## 千歳光科学国際フォーラム(CIF'18)を開催しました

10月9日(月・祝)～10日(火)「第18回千歳光科学国際フォーラム(CIF'18)」をANAクラウンプラザホテル千歳および本学において開催いたしました。今回のフォーラムでは、「観光」を切り口として、商業/観光の振興と環境保護の促進を両立させるという側面から「持続可能なまちづくり」についてこれらの分野で著名な有識者による「特別講演」と、市民と講演者による「パネルディスカッション」を行いました。

初日は、フリーライターの中尾隆之氏による「観光の魅力づくりと7つの大事(食とおもてなし考)」及び東北大学名誉教授の石田秀

輝氏による「自然に学ぶあたらしい暮らし方のか・た・ち」について特別講演が行われ、約140名の市民の方々は熱心に耳を傾けておりました。

2日目は会場を本学に移し、ポスター発表やドイツゼンケンベルグ自然博物館のジュリア・クロマー氏による基調講演等が行われました。講演は英語で行われ、学生はメモを取るなど熱心に聞いていました。ポスター発表において、本学博士前期課程2年生の兼平裕也さんが優秀賞を受賞しました。



## 夢ナビライブ2017仙台会場に参加しました

10月7日(土)夢メッセみやぎ(仙台市)で開催された、高校生を対象とした「夢ナビライブ2017」に参加しました。夢ナビライブとは、自分が学びたい学問を発見し、そのイメージを明確にしたり、進学に関して気になることを大学関係者に直接質問したり、説明を受けることができるイベントです。毎年、究めたい学問の発見から学べる大学との出会いまで、一度に体験できるまたとない機会となっており、当日は8,729名の来場者がありました。本学からは、2名の先生が右記のテーマで講義を行い、大勢の聴講者が集まり、講義の後に相談ブースに熱心に質問に来る生徒もおりました。



### 「色鮮やかな光をつくる 化学の魅力」

応用化学生物学科  
坂井 賢一 准教授



### 「コーヒーイクラを作ろう! ブースで試食可!」

応用化学生物学科  
オラフ・カートハウス 教授

## 花いっぱいコンクールで 最優秀賞を受賞しました

研究・実験棟ロータリー内の花壇が、公益財団法人ちとせ環境と緑の財団が主催する「第30回(平成29年度)花いっぱいコンクール」で花壇部門中学校等の部において、「最優秀賞」を受賞しました。最優秀賞は2年連続、受賞は3年連続となります。この花壇は、菜園サークルの学生らが主体となり教職員と協力して植え付けや装飾、管理をしたものです。

表彰式は8月28日(月)、千歳市総合福祉センターにて執り行われました。



## インターオプト2017に出展しました

10月4日(水)~6日(金)幕張メッセ(千葉県)において開催された、「インターオプト2017」に非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)と合同で出展しました。インターオプトは最先端のITやエレクトロニクスの総合展示会になっており、本学の展示ブースでは応用化学生物学科の平井悠司専任講師によるバイオミメティクスに関する展示を行いました。中でもNano-suit法による生きたままの生物観察方法については多くの方に興味を持っていただき、期間中展示ブースには研究者や本学の卒業生等が多数来訪し、熱心に説明を聞いていました。

## 理工工房が科学の祭典に参加しました

11月19日(日)北ガス文化ホール(旧千歳市民文化センター)で「青少年のための科学の祭典千歳大会」が開催されました。32ブースにて科学実験の体験が行われ、参加団体は本学の理工工房を始め、ANA、セイコーエプソン、デンソー北海道などの企業や高等学校から4校、大学から6校、市民活動団体等たくさんの方が出展されました。理工工房の学生が主催するサイエンス教室では「味覚のふしぎ」と題して参加者に不思議な体験をしてもらいました。子どもさんと一緒に来場した大人たちも科学実験に夢中になっていました。今年の来場者は2,300人(延べ数)と昨年のほぼ倍増で、朝から各ブースがとても賑わっていました。



## ビジネスEXPOに出展しました

11月9日(木)~10日(金)アクセス札幌(札幌市)において開催された、北海道最大級のビジネスイベント「第31回北海道技術・ビジネス交流会」(通称ビジネスEXPO)に出展しました。

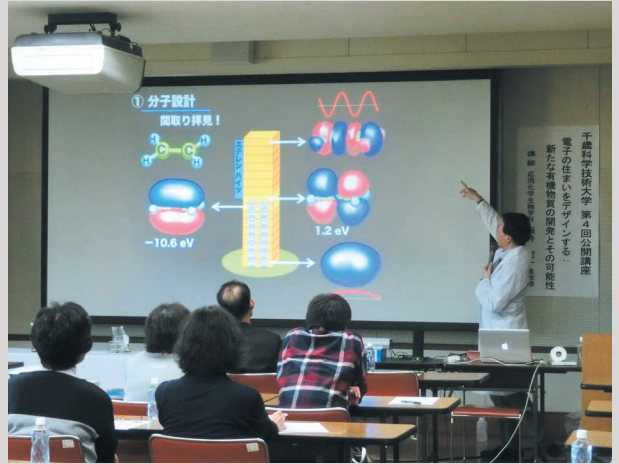
本学からは2012年度から文部科学省にて事業補助されている「ナノテクノロジープラットフォーム事業」において、本学にて利用可能な機器の紹介や産学官の研究者に対して行っているノウハウ提供及びデータ解析等を含めた支援を実施していることを説明しました。

当日は345の企業・団体が出展し、20,850名の来場者がありました。

## 第4回公開講座報告

本年度第4回目の公開講座では、応用化学生物学科の坂井賢一准教授が、人体の構成成分でもある有機物の多様性や可能性について講演しました。元素の組み合わせ次第では、未来の暮らしを変えるような物質の創成も期待できます。本講座では、色鮮やかに光る蛍光性の有機物を紹介し、医療や材料科学分野での注目度合いについて解説し、参加者に簡単な実験を行ってもらいました。参加者からのアンケートにより、非常に興味・関心を持って聴いていただいたことが分かりました。

- 日時:2017年11月18日(土)
- 会場:北ガス文化センター(旧千歳市民文化センター)3階視聴覚室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)
- 演題:電子の住まいをデザインする:新たな有機物質の開発とその可能性
- 講師:坂井 賢一(応用化学生物学科 准教授)
- 参加者数:23名



## eラーニング講習会を行いました(札幌西陵高校)

9月21日(木)、22日(金)に今年高大連携協定を締結した北海道札幌西陵高等学校の2年生を対象にeラーニングの使い方について講習会を行いました。生徒たちからは講習会実施後のアンケートにより、eラーニングに対してとても好評で勉強に取り組む前向きな感想が多数寄せられました。

市立札幌開成中等教育学校  
プレ先端科学特論を実施しました

10月14日(土)市立札幌開成中等教育学校のコスモサイエンス科4年生47名が本学に来学し、大学の授業を体験しました。こちらは先端科学技術に興味・関心を持ち課題研究の基礎をつくることを目標に、札幌開成高等学校時代の2009年から始まり今年で9年目になります。

当日は物理系テーマ「光の波動性を探る」と化学系テーマ「光変色反応」についてそれぞれ学んでもらいました。どの生徒もとても熱心に実験や授業を受け、担当教員や実験補助をした本学学生に積極的に質問し、帰りのバス時刻間際までメモを取っている生徒がいました。

平成29年度  
第2回光テクノロジー応用懇談会

9月15日(金)、千歳アルカディア・プラザ 1階多目的ホールにおいて、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)が主催する講演会が開催され、本学から谷尾教授、曾我教授、下村教授の3名が講演しました。当日は、市内外から27名の市民の皆様が来場し、各専門分野のお話を熱心に聴いておりました。



**樹木から生まれた先端材料:セルロースナノファイバー**  
応用化学生物学科 谷尾 宣久 教授

**生態系サービスを活かす情報サービス**  
情報システム工学科 曾我 聡起 教授

**インフォマティクスが結ぶ生態系サービスとモノづくり**  
応用化学生物学科 下村 政嗣 教授

北海道江別高等学校定時制課程と  
高大連携協定を締結しました

11月24日(金)、北海道江別高等学校定時制課程(吉田岳夫校長)と本学(川瀬正明学長)の高大連携協定調印式を執り行いました。両校の挨拶で吉田校長は、「定時制ということもあり、学力層が様々。授業の中で取り入れていきたい」川瀬学長は「お互いの連携の質が上がれば」と述べていました。今回の締結により、高大連携校は57校となりました。



# 研究・学生活動

## 小松川先生が文部科学大臣賞を受賞しました

理工学部情報システム工学科の小松川浩教授(写真右側)が平成29年度「情報化促進貢献個人等表彰」において、文部科学大臣賞を受賞しました。

この賞は、教育の情報化、又は情報分野の研究開発等において、顕著な貢献をしたと認められる個人・団体を表彰するものです。今回は、先生のeラーニングシステム等の開発を含むICTを活用した北海道の理数系教育力向上のための活動と、「共通基盤教育共有システム」の構築により教育の情報化への先導的な役割を果たしている点などが評価されました。

授賞式は10月2日(月)、東京証券会館(東京都中央区)にて執り行われました。



## 福田先生が振動・波動についての入門書を刊行しました

理工学部電子光工学科の福田誠教授が、物理学や工学の広い範囲で必要とされる振動・波動についての入門書「入門 振動・波動」を刊行しました。本書は「なぜ そのようになるか」を考えながら勉強を進められるように構成されており、読者が自学自習によって理解を深められるようになっています。

福田先生からは「本書で学んだ内容を自分の言葉で説明できるように勉強してください。」とのコメントをいただきました。皆さま是非お手にとってご覧ください。

- タイトル:入門 振動・波動
- 著者:福田誠(千歳科学技術大学 理工学部電子光工学科 教授)
- 出版社:裳華房
- 出版年:2017年11月
- 定価:2,000(+税)



## 村井先生がISIS2017で 賞を受賞しました

理工学部情報システム工学科の村井哲也教授が、10月11日(水)～14日(土)にEXCO:Daegu Exhibition & Convention Center(韓国)で開催された「ISIS2017 (The 18th International Symposium on Advanced Intelligent Systems):第18回高度知的システムに関する国際シンポジウム」において Best paper award を獲得しました。



- タイトル:A Note on a Heuristic Attribute Reduction Method with Redundancy Checking
- 発表者:Y.Kudo and T.Murai

## 学生が北海道高分子若手研究会で 賞を受賞しました

大学院生的小林翔太さん(光科学研究科光科学専攻 博士前期課程2年 カートハウス研究室所属)が、9月8日(金)～9日(土)に登別万世閣(登別市)で開催された、「2017年度北海道高分子若手研究会」において優秀ポスター賞を受賞しました。

この賞は、若手研究者の講演と討論を通じて高分子科学の理解を深めるとともに、人的ネットワークの形成を目的とした今研究会において行われたポスターセッションの中で、優秀な発表に対して授与されるものです。



- タイトル:高分子粒子を用いたバイオミネラリゼーションと制御
- 発表者:小林 翔太

## 「インターンシップ成果報告会」を開催しました

インターンシップ成果報告会を、10月17日(火)、24日(火)の2回にわたり、本学で開催しました。この成果報告会は、学生が夏休み中に参加したインターンシップでの学びをまとめ、報告する場として例年開催しております。平成29年度は、学部3年生94名が53事業所でのインターンシップに参加し、参加率は58.0%となりました。

この報告会には、受入事業所のご担当者様にもご参加いただいております。今年度は、両日あわせて32の受入事業所より54名の皆様がお越しく下さいました。報告会では、企業の皆様を中心に、多くの質問や意見をいただくことで、学生はさらに学習を深めることができました。

なお、報告会実施にあたっては、本学の4年生や大学院生がティーチングアシスタントとして、3年生の発表資料の作成や練習を1ヶ月以上にわたりサポートし、また、報告会当日は各教室での司会進行も担当しました。

また両日とも、第二部として、参加事業所の皆様にご協力いただき、学生との「意見交換会」を本学食堂にて実施しました。ここでは、学生が実際にインターンシップを行った事業所だけでなく、他の事業所の皆様ともざっくばらんに対話することで、インターンシップだけでなく、社会人としてのあり方や就職活動に対してなど、貴重なお話をいただくことができ、学生も積極的に質問するなど、有意義な時間となりました。なお、意見交換会の開催にあたっては、千歳科学技術大学同窓会のご協力をいただきました。

### 平成29年度 インターンシップ成果報告会 参加事業所一覧

株式会社I-TECソリューションズ、株式会社エイチ・エル・シー、株式会社エーシー、株式会社エム・ソフト、株式会社エルス、大井電気株式会社、株式会社カミノ、株式会社協和エクシオ 北海道支店、キリンビール株式会社 北海道千歳工場、クローバー電子工業株式会社、株式会社三技協イオス、株式会社ジャパンテクノカルソフトウェア、株式会社積水化成品北海道、株式会社ダイナックス、千歳市、社会福祉法人千歳市社会福祉協議会、千歳市立高台小学校、千歳市立図書館、千歳市立勇舞中学校、株式会社つうけん、ナラサキスタックス株式会社、株式会社ニッセイコム、株式会社ハイマックス、北海道ガス株式会社 千歳支店、北海道日興電気通信株式会社、美和電気工業株式会社 北海道支社、室蘭まちづくり放送株式会社、株式会社もりもと、陸上自衛隊 (事業所名順/敬称略)



成果報告会の様子



意見交換会の様子

## 若年求職者向け就職支援セミナーを開催しました

千歳市との共催事業である「若年求職者向け就職セミナー」を本学で開催しました。

第1回は、10月18日(水)、北海道テレビ放送株式会社(HTB)アナウンサーの大野恵さんを講師にお招きし、「言霊～アナウンサー生活10年であった言葉たち」と題して、10年間のアナウンサー生活を通して出会った9つのキーワードを元に、「働くことの意義」についてご講演いただきました。参加者からは「仕事をする上で、人との繋がりは大切であると感じた」、「苦手なこともまず「好きになる」ことから始める」というところに共感した」など、前向きな感想が寄せられました。

第2回は、11月20日(月)、北海道電力株式会社札幌支店千歳支社の岡田信行支社長を講師にお招きし、「日々のモチベーションについて～若者に伝えたいこと～」と題して、ご自身の経験を交えながら、ご講演いただきました。なお、第2回セミナーの開催には千歳工業クラブ様にもご協力いただいております。参加者からは「私も夢メモをつくりたいと思いました」、「モチベーションを保つために何事も楽しむことが大切、ということが分かりました」という感想が寄せられました。



第1回セミナーの様子(大野氏)



第2回セミナーの様子(岡田氏)

## 「企業と大学の情報交換会」を開催しました

企業と大学の情報交換会を東京・札幌の2会場で開催しました。東京会場は11月13日(月)にホテル東京ガーデンパレス(181社、228名参加)で、札幌会場は11月21日(火)にホテル札幌ガーデンパレス(101社、139名参加)にて開催しました。

第1部の大学紹介では、本学での様々な取組や就職状況等について説明を行いました。また、札幌会場ではインターンシップ参加学生による成果発表も行いました。第2部の名刺交換会では、参加企業の皆様と本学教職員との活発な意見交換が行われました。今年度も両会場とも多数の企業様にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。当日のプログラムは下記の通りです。



【第1部】大学紹介の様子



【第2部】名刺交換会の様子

### 【第1部】

- 学長挨拶(学長 川瀬 正明)
- 大学紹介
- 大学紹介(学部長 山中 明生)
- 就職状況について(キャリアセンター長 吉本 直人)
- (札幌会場のみ)インターンシップ参加学生による成果発表
- キャリアセンター教員紹介
- 教職員紹介

### 【第2部】

- 名刺交換会
- 個別相談会

## 大学見学・出張講座のご案内



### ■大学見学

大学見学では、模擬講義や実験、研究室見学で研究や大学での学びに触れ、学食でのランチ体験やOB、OGとの交流などを通して、学生生活を体験していただけます。皆さんに科学の楽しさや研究の楽しさを感じていただき、進路選択の一助となるようプログラムを工夫しています。学年や人数、見学時間等に応じたプログラムの作成も可能です。2017年度は11月までに16校、588名の高校生が大学見学に来学しました。

### ■出張講座

高校の学びを深め、大学の学びを知るために出張講座を行っています。3学科のそれぞれの特色を生かした講座や各種ガイダンスを、今年度は11月までに35校で開講いたしました。高校生の皆さんに、実験や講義を通して、最先端の科学やテクノロジーに触れていただき、興味を持っていただきたいと思います。テーマや内容については本学のホームページからご確認ください。目的や受講生の学年、履修状況に応じて、個別にアレンジも可能です。

どちらもお気軽に、入試課までご相談・お問い合わせください。 千歳科学技術大学 入試課 電話:0123-27-6011

# 入試情報

## オープンキャンパスへのご参加 ありがとうございました

平成29年度のオープンキャンパスは6月18日(日)の第1回を皮切りに、11月まで計4回開催しました。毎回多くの高校生や保護者の方々にご参加をいただき、無事に全日程を終了することが出来ました。模擬講義や研究室見学など、来年度も皆さん楽しんでいただけるオープンキャンパスとなるようプログラムを工夫して、スタッフ一同、お待ちしております。平成30年度の開催日程につきましては、決定次第ホームページ等でご案内させていただきます。



## ■平成30年度入試概要

入試タイプ		出願期間	試験日	合格発表日	手続き締切日	試験会場	募集人員
一般学力入試	I 期	1月9日(火) ~1月25日(木)	2月4日(日)	2月14日(水)	第一次:3月1日(木) 第二次:3月29日(木)	本学・旭川・釧路・ 函館・仙台	50
	II 期	2月13日(火) ~2月26日(月)	3月2日(金)	3月8日(木)	第一次:3月15日(木) 第二次:3月29日(木)	本学	15
	III 期	3月5日(月) ~3月19日(月)	3月23日(金)	3月27日(火)	3月29日(木)	本学	10
センター試験 利用入試	I 期	1月9日(火) ~2月1日(木)	-	2月14日(水)	第一次:3月1日(木) 第二次:3月29日(木)	-	30
	II 期	2月13日(火) ~3月1日(木)	-	3月8日(木)	第一次:3月15日(木) 第二次:3月29日(木)	-	15
	III 期	3月5日(月) ~3月22日(木)	-	3月27日(火)	3月29日(木)	-	10

## インターネット 出願について

一般学力入試及びセンター試験利用入試では、紙の願書による出願に加えて、「インターネット出願」も受け付けています。「インターネット出願」では、入学検定料をクレジットカードやコンビニ、ATMでお支払いいただくことが可能です。出願を予定されている方は、是非ご利用ください。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

## ■優遇・助成制度

制 度	対 象	金 額	備 考
特待生・ 奨励生制度	入学生	特待生A	学費(入学金を除く)を全額免除 入学後は成績等を審査のうえ継続が決定されます
		特待生B	学費(入学金を除く)を半額免除 入学後は成績等を審査のうえ継続が決定されます
		奨励生	授業料の一部免除 (入学金相当180,000円) 第1学年秋学期 納付金についてのみ
	在学学生	特待生	学費を半額免除 1年間
授業料優遇制度	兄弟姉妹で同時在籍者	授業料の半額免除 (年間466,500円相当)	在籍者が1人になったら正規授業料を納付
千歳市優遇制度	出願時、本人または保護者が 千歳市民であったもの 千歳市内の高等学校を卒業したもの	授業料の一部免除 (年間180,000円)	第1学年秋学期 納付金についてのみ
帰省旅費 助成制度	道外出身者	帰省旅費の半額 上限20,000円	年1回
	道内出身者 (居住地の最寄駅等から帰省先最 寄駅等までの距離が200km以上)	帰省旅費の半額 上限10,000円	年1回
千歳科学技術大学 奨学金	経済的に修学が困難な学生	年間240,000円支給	返還の必要なし

## 公立大学法人化に関する山口千歳市長の表明について

10月25日(水)、千歳市議会の「千歳科学技術大学の公立化に関する調査特別委員会(※)」において、山口幸太郎千歳市長より「2019年4月の公立大学開学に向けて取り組みたい」として、千歳科学技術大学を公立大学法人化する方針が表明されました。なお、同特別委員会では2018年3月にも公立化の適否を判断することとしています。「千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する市の検討結果について」は千歳市のホームページをご覧ください。



(※)「千歳科学技術大学の公立化に関する調査特別委員会」…千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する諸課題についての調査を行うため2017年7月に千歳市議会が設置したものです。

## 千歳科学技術大学 理事長、学長選任のお知らせ

学校法人千歳科学技術大学は、伊澤達夫理事長及び川瀬正明学長の任期が満了することに伴い、11月22日に行いました理事会において、下記のとおり選任しましたのでお知らせいたします。



■役職名:理事長  
 ■氏名:伊澤 達夫(いざわ たつお)  
 ■就任日:2017年11月28日  
 <略歴>  
 昭和45年3月 東京大学大学院工学系研究科電子工学専攻博士課程 修了  
 平成8年6月 日本電信電話株式会社 取締役 基礎技術総合研究所 所長  
 平成10年6月 NTTエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長  
 平成19年10月 東京工業大学 理事・副学長  
 平成25年11月 学校法人千歳科学技術大学 理事長

■役職名:学長  
 ■氏名:川瀬 正明(かわせ まさあき)  
 ■就任日:2018年4月1日  
 <略歴>  
 昭和47年3月 北海道大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程 修了  
 平成8年7月 日本電信電話(株)サービス運営部技術協力センター 所長  
 平成11年4月 千歳科学技術大学光科学部光応用システム学科教授  
 平成19年4月 紫綬褒章(しじゅほうしょう) 受賞  
 平成22年4月 学校法人千歳科学技術大学 学長



## 寄付に感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

■寄付者ご芳名(2017年8月1日から11月30日まで)

太田 友生 伊藤 圭子 菅原 敏行 木下 隆政  
 大澤 一仁 渋谷進一郎 中條里加子 敬称略

## 本学へのご寄付のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



## 大学公式!

## TwitterとInstagramで 情報発信中!

本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。

Twitter、InstagramどちらもIDは@cistkohoで検索ください。

## ?カーギーとは?

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーディガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探求すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげる事も多い。



Twitter



Instagram



## 編集 後記

今年の稜輝祭は好天に恵まれ、青空の下大勢の人で賑わいました。実行委員会の皆さんも忙しい中、準備・運営を手がけ大変お疲れ様でした。また、今年度は開催が例年より1か月後倒しになったことで、屋外イベントは少々寒く感じた方もいたのではないのでしょうか。そんな中お越しいただき、稜輝祭を盛り上げていただいたご来場者の皆さま、本当にありがとうございました。